

MARGUERITA MERTENTIME



MARGUERITA MERTENTIME EXHIBITION

02.27 thu - 03.04 web

アメリカをはじめてデザインした女性 マルゲリータ・マーゲンタイム

アメリカ・デザインの黄金期ともいわれるミッドセンチュリー。当時を代表するチャールズ&レイ・イームズやジョージ・ネルソン等が本格的な活躍を見せる以前の1930年代、革新的で明るく美しいデザインによって暮らしに活気と豊かさをもたらすべく活動していた一人の女性デザイナーがいました。彼女の名は、マルゲリータ・マーゲンタイム（1894～1941）。ニューヨークを拠点にテキスタイルデザインの分野で目覚ましい功績を残しながらも、47歳で早世。長年、影に隠れていた才能でしたが、マーゲンタイムの遺族がコレクションを公開したことで、今大きな注目を集めています。そして、英国を拠点に置くアーカイブエージェンシー Marksmen とのコラボレーションによりコレクションが復活、現代にあわせ彼女のデザインをよみがらせました。

この度、マーゲンタイムの実孫であるヴァージニア・ベイヤーの来日に伴い、2月27日（木）～3月4日（水）の期間、テキスタイルデザイナー、マルゲリータ・マーゲンタイムを現代的な解釈のもと紹介するエキシビションを開催いたします。ニューヨーク近代美術館やクーパー・ヒューイット、スミソニアン・デザイン・ミュージアムをはじめ、ドイツ、オーストリア、イスラエルなどを巡回したマルゲリータ・マーゲンタイムのオリジナルコレクションの一部が、日本初公開。その類稀なる感性とデザイン哲学をオリジナル作品とともにご紹介します。アメリカのデザイン史に欠かすことのできない、マルゲリータ・マーゲンタイムの魅力にぜひご注目ください。

プレスプレビュー：2月26日（水）15:00～18:00 / レセプション：18:00～21:00

ABOUT

Marguerita Mergentime / マルゲリータ・マーゲンタイム (1894–1941)

ニューヨークを拠点に活躍したアメリカのテキスタイルデザイナー。

1930年代のアメリカ。戦後の好景気から一転し、世界恐慌や禁酒法など鬱屈としたムードが漂う時代背景の中、女性であり、主婦であり、母であったマーゲンタイムは、普遍的な感覚を持ち合わせながら、高い美意識と飽くなき探求心から独学でデザインを習得。彼女の革新的かつ情熱的な想いのもと、当時のアメリカの家庭を活気づけたいと、生活に身近なテーブルリネンなどテキスタイルのデザインを通して、アメリカのインテリアに大胆なパターンを取り入れ、人々の暮らしに明るさや楽しさといった彩りをもたらしました。

マーゲンタイムは、生活空間以外でもその実力を発揮。フランク・ロイド・ライトやドナルド・デスキー、ラッセル・ライトが所属していたアメリカ装飾芸術家職人連合「American Union of Decorative Artists and Craftsmen (AUDAC)」のメンバーとしても活躍。ドナルド・デスキーが中心となり AUDAC のメンバーと手がけた「ラジオシティーミュージックホール」のテキスタイルデザインの一部を担当しました。その卓越したセンスは広く認められ、当時 The New Yorker や VOGUE といったメディアでも注目のデザイナーとして紹介されました。

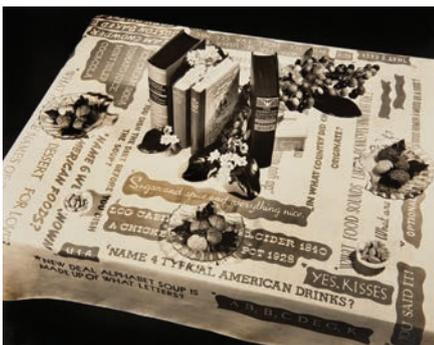
BRAND

マーゲンタイムは、時代に先駆け自身の名前をブランド化しコレクションを発表したセルフブランディングのバイオニア。ロゴをつくりテキスタイル作品の中に配置し、豊富なバリエーションがあるコレクションを1つのブランドとしてまとめ、広く認知されていきました。

EXCELLENT TASTE

マーゲンタイムは、ジョン・フレデリクス帽子やスキャパレリのニットなどを常に身に付け、自宅の内装は、アーティストで建築家のフレデリック・キースラーに依頼するなど、自身のファッションやインテリアにおいても、細部に渡ってそのセンスを光らせていました。

マーゲンタイムのブランドの復刻は、失われたデザインの時代を現代的に捉え、また、マーゲンタイムのサインやロゴを取り入れられた新しいコレクションは、彼女の感性や哲学を受け継ぎ未来へとつなぐ役割を担っています。



食卓で楽しめるようクイズが様々なタイポグラフィのデザインで落とし込まれた作品



自邸のインテリア写真



1930年代当時 RADIO CITY (NY) の写真

DESIGN

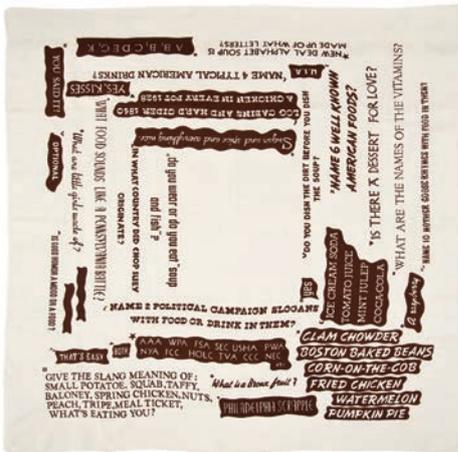
マルゲリータ・マーゲタイムのテキスタイルは、テーブルクロスやランナー、カクテルナプキンなどテーブル周りに用いられるアイテムが多く、デザインのバリエーションも豊富です。幾何学的なモチーフから花柄、フォークアートなど一人のデザイナーによるものとは思えないほど実に多彩。タイポグラフィを用いたデザインには、クイズや言葉遊び、政治をテーマにしたテキストが落とし込まれ、テーブル上での会話を誘発するような仕掛けが考えられています。



ONCE IN AWHILE (Tablecloths)



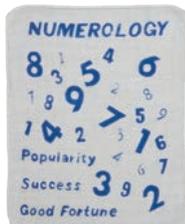
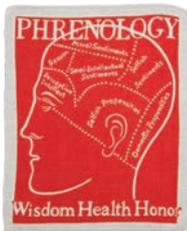
PRESIDENT'S SIGNATURES (Tablecloths)



FOOD QUIZ (Tablecloth and Table Setting)



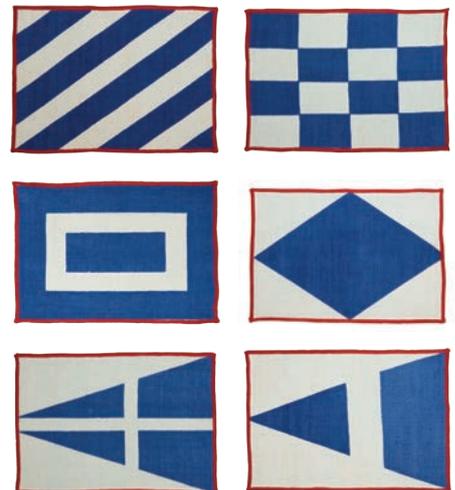
JOLLY GERANIUM (Tablecloths)



WISH FULLFILMENT
(Cocktail Napkin)



FLORA AMERICA
(Guest Towel)



SIGNAL
(Cocktail Napkins)

OUTLINE

Marguerita Mergentime Exhibition / マルゲリータ・マーゲンタイム展

□会期： 2020年2月27日（木） - 3月4日（水） *会期中

□時間： 11:00-20:00

□会場： ホームステッドリミテッド
東京都渋谷区松濤 1-1-3 Tel. 03-6455-4460

□プレスプレビュー：2月26日（水）15:00-18:00

□オープングレセプション：2月26日（水）18:00-21:00

*会期前日に、マルゲリータ・マーゲンタイムの実孫であるヴァージニア・ベイヤー氏を迎え、
プレスプレビューとオープングレセプションを行います。ぜひこの機会お話しお聞きくださいましたら幸いです。

STAFF

企画：	ホームステッドリミテッド
ブランドマネージメント：	Marksman (contact@marks.mn)
キュレーション・編集：	猪飼尚司
グラフィックデザイン：	田部井 美奈
PR：	川村美帆 (デイリープレス)

CONTACT

本件に関するご質問、取材、掲載等のご希望がございましたら、下記担当までお問い合わせ下さい。

□ GENERAL

ホームステッドリミテッド
東京都渋谷区松濤 1-1-3 tel. 03-6455-4460

□ PRESS

デイリープレス 川村 美帆
mihokawamura@dailypress.org tel03-6416-3201 / 090-4063-3081